

エリア2
(かながわ地質情報マップのHPより)

ボーリング柱状図

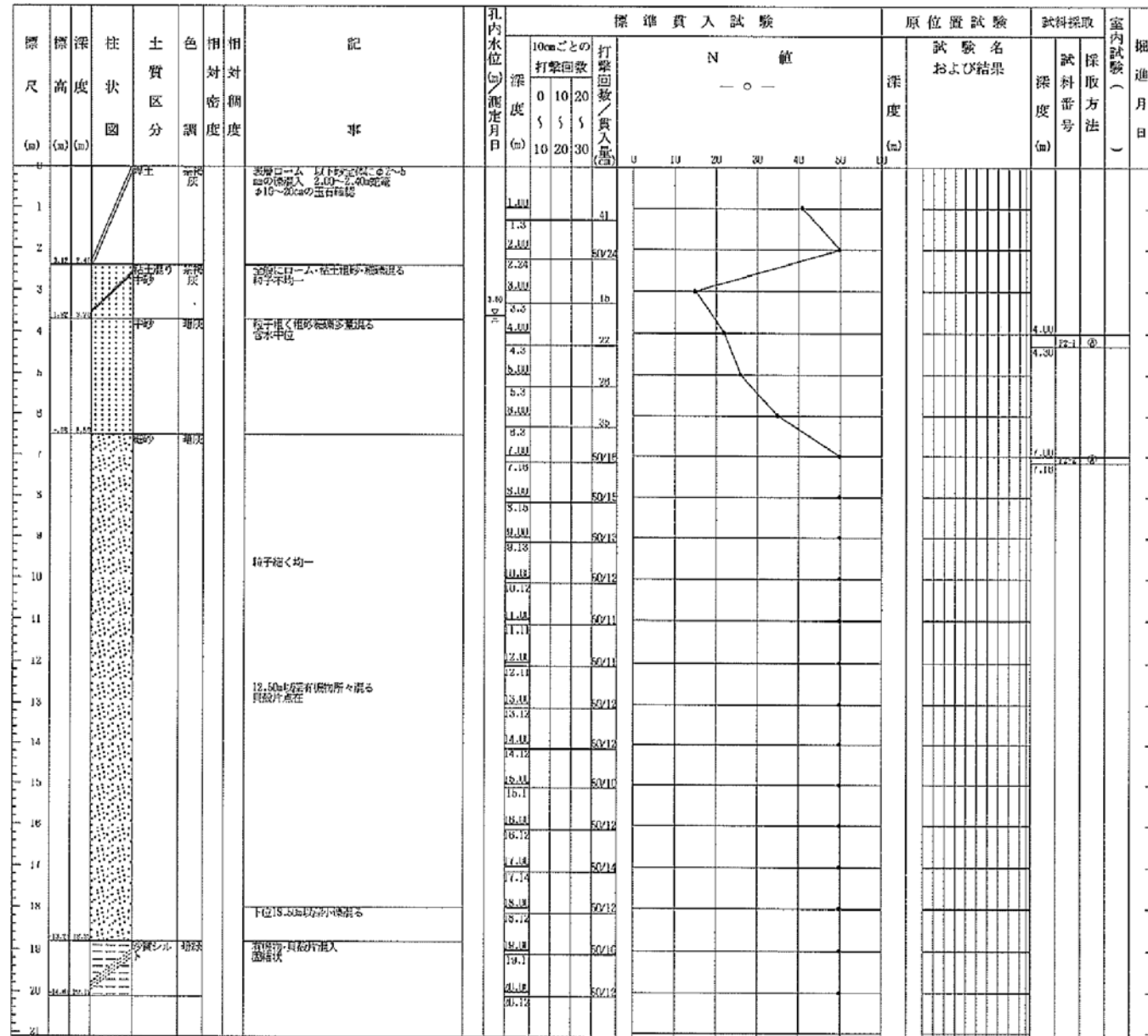
調査名 昭和63年度河川改修事業(1種) 受託河川工事合併二級河川葛川

事業・工事名

ボーリングNo

シートNo

ボーリング名	①		調査位置	神奈川県中郡大磯町国府新宿地中河原橋			北緯
発注機関	神奈川県平塚土木事務所			調査期間	1989年01月01日 ~ 1989年01月01日		東経
調査業者名	電話	主任技師	現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者		
孔口標高	5.53m	角度	180° ト 下 0°	方向	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	使用機種
総掘進長	20.12m						エンジン
							ポンプ



ボーリング柱状図

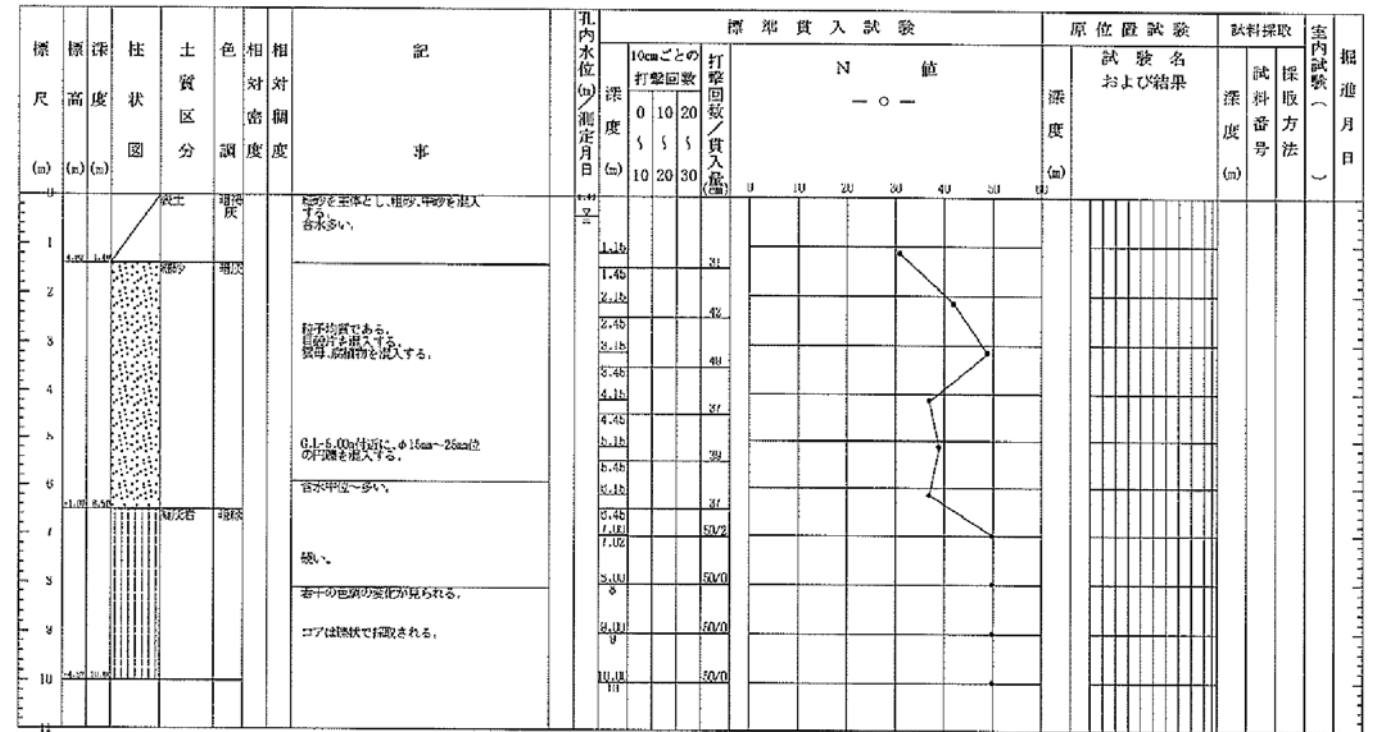
調査名 平成元年度河川改修工事(1種) 当初7号分割7 不動川

事業・工事名

ボーリングNo

シートNo

ボーリング名	②		調査位置	神奈川県中郡大磯町国府本郷地内			北緯
発注機関	神奈川県平塚土木事務所			調査期間	1990年03月01日 ~ 1990年03月01日		東経
調査業者名	電話	主任技師	現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者		
孔口標高	5.43m	角度	180° ト 下 0°	方向	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	使用機種
総掘進長	10.00m						エンジン
							ポンプ



(4) 深浅測量データの整理

1) 既往深浅測量結果

平塚土木事務所の深浅測量結果及び被災直後に実施した横断測量結果をまとめたものを図1.12に示す。

これより、長期的変化をみると、1970年代から汀線位置が10m~20m後退しており、一つの要因として長期的侵食が上げられる。



図1.11 測線位置図

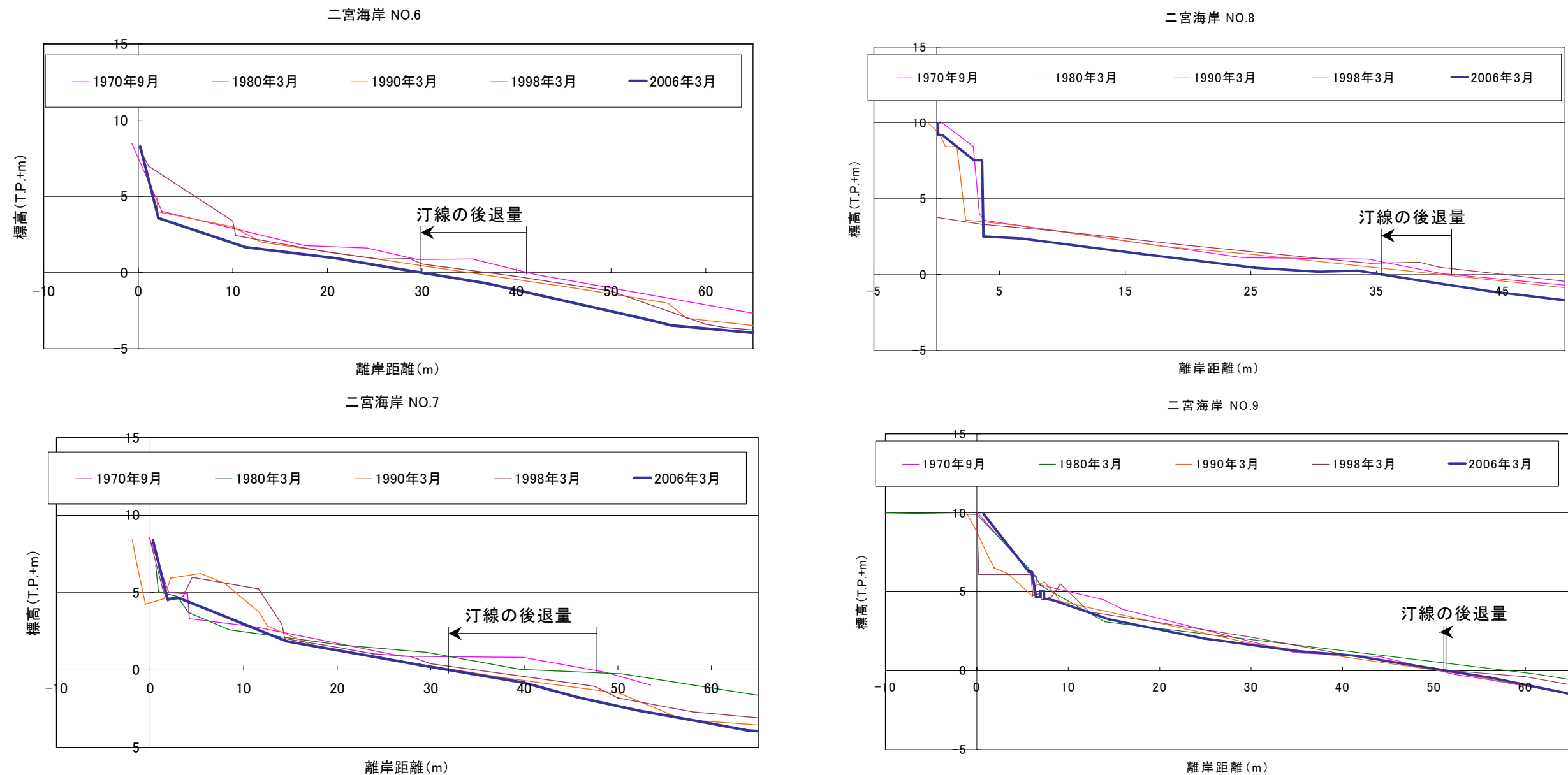


図1.12 海浜横断面図

2) 被災後の深浅測量結果

① 横浜国道事務所実施（平成19年10月実施深浅測量結果）

図1.13に測線位置平面図および次頁より各被災後・被災前の横断測量データの比較図を示す。今回の被災により、洗掘が発生し、基礎地盤が2~3m 低下していることがわかる。これにより擁壁の基礎が洗い出されたことにより擁壁背後の土砂が吸い出され、倒壊につながったと推測される。

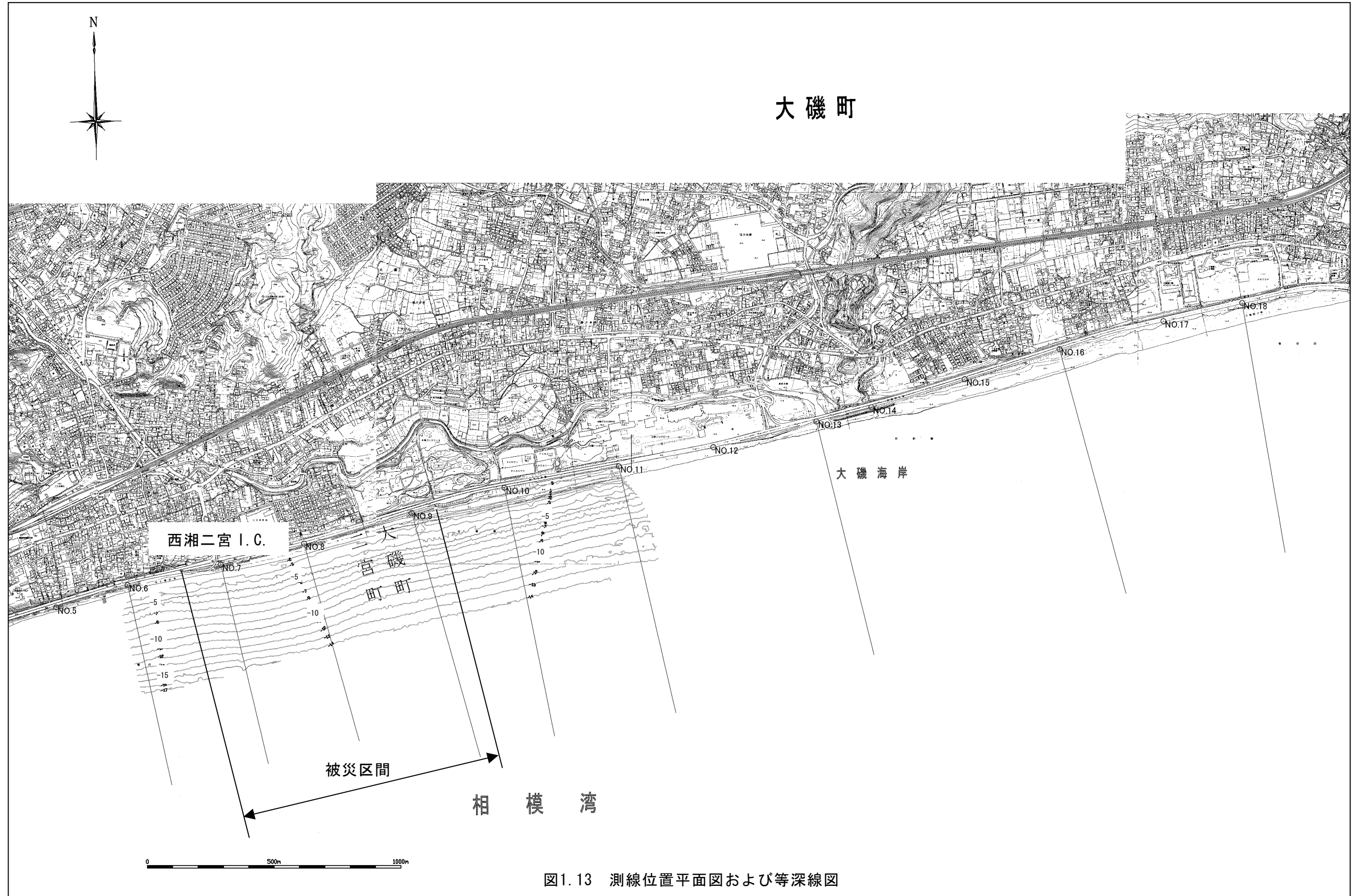
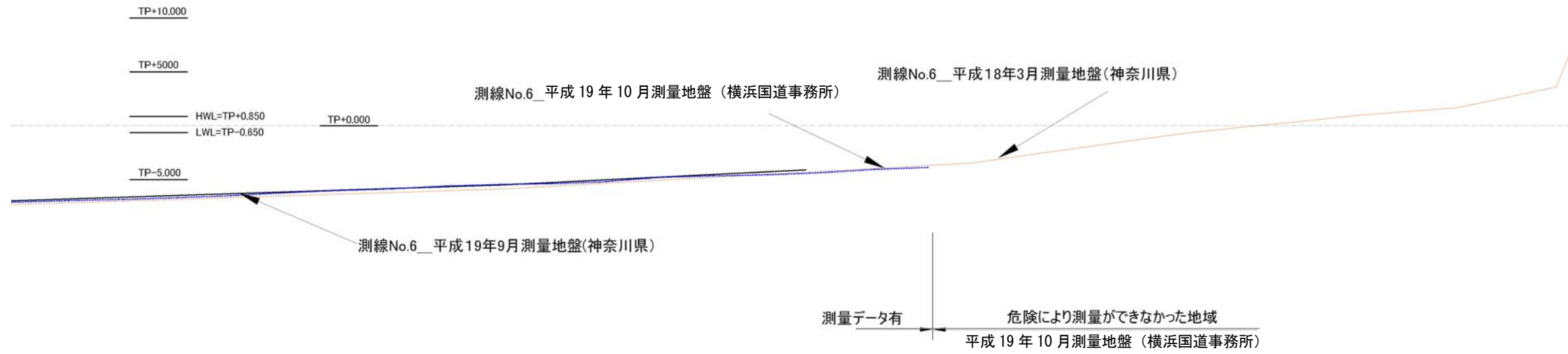


図1.13 測線位置平面図および等深線図

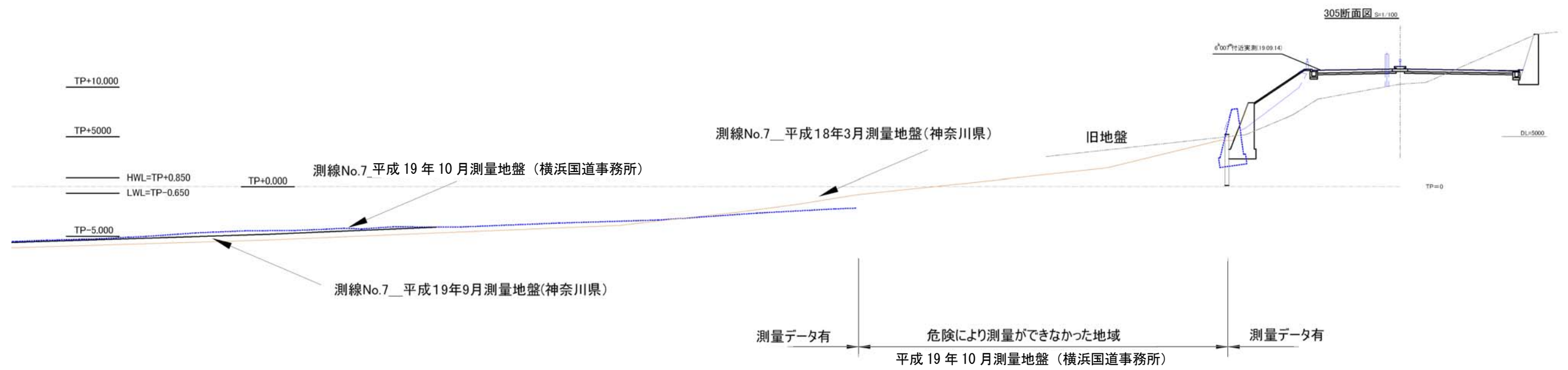
測線No6付近

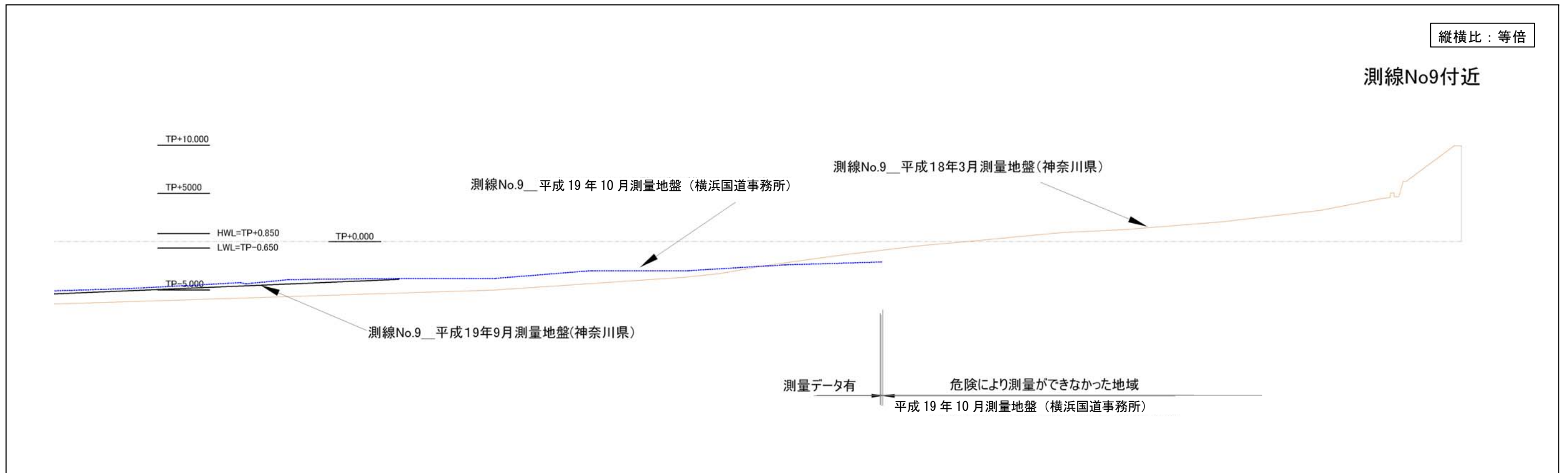
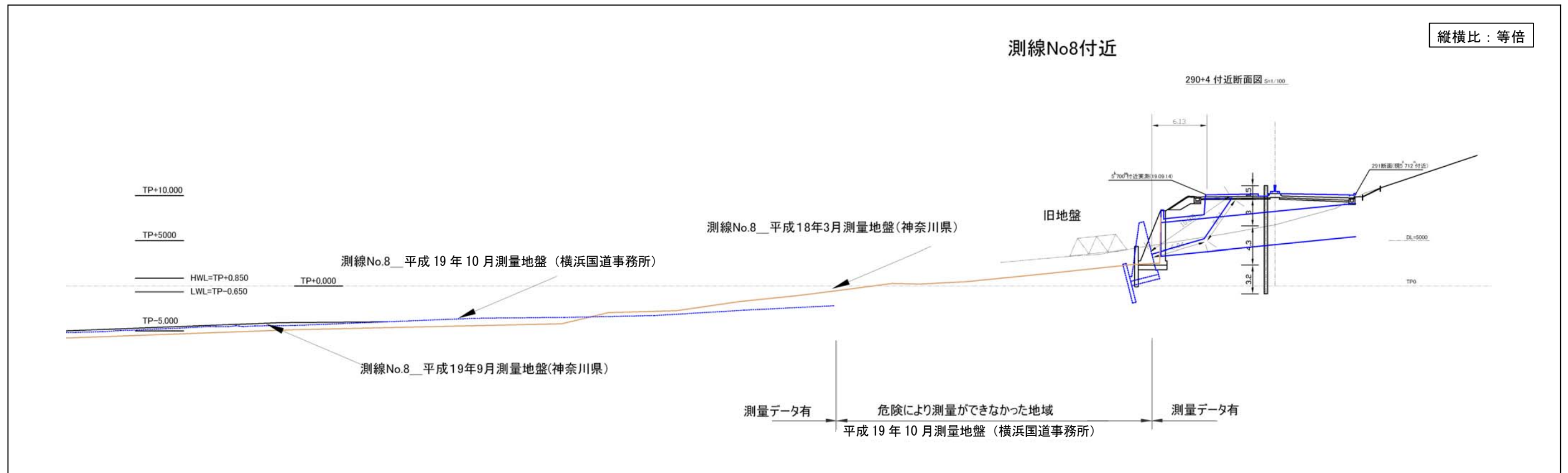
縦横比：等倍



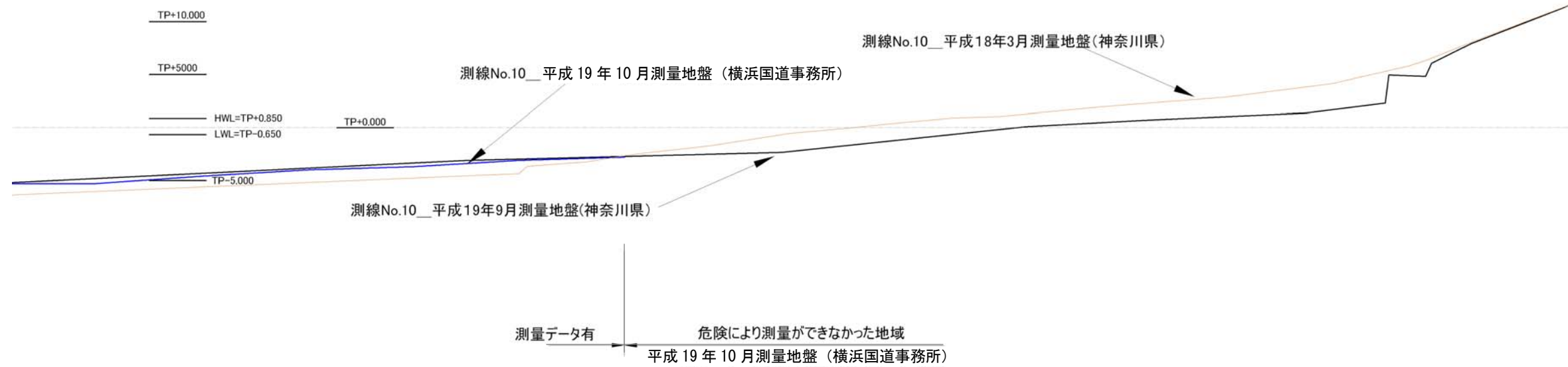
測線No7付近

縦横比：等倍

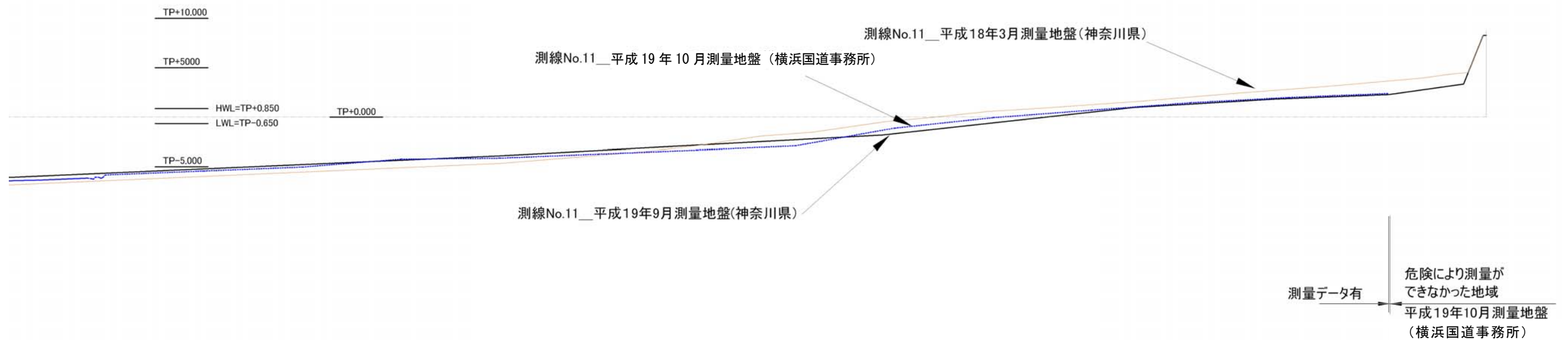




測線No10付近 縦横比：等倍

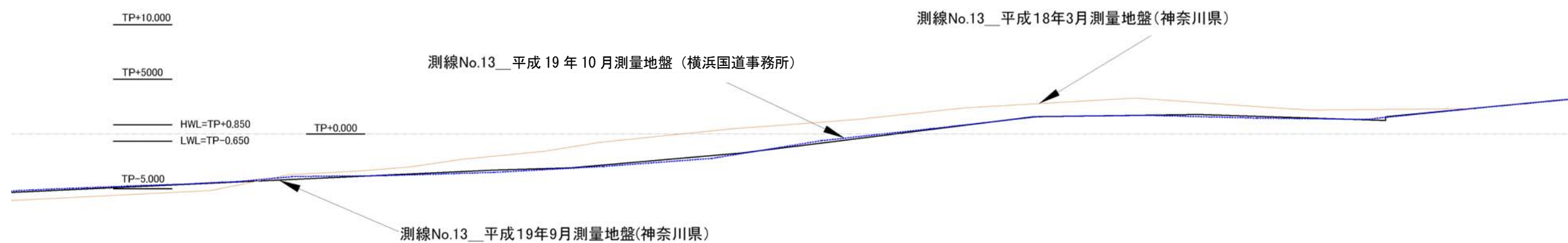


測線No11付近 縦横比：等倍



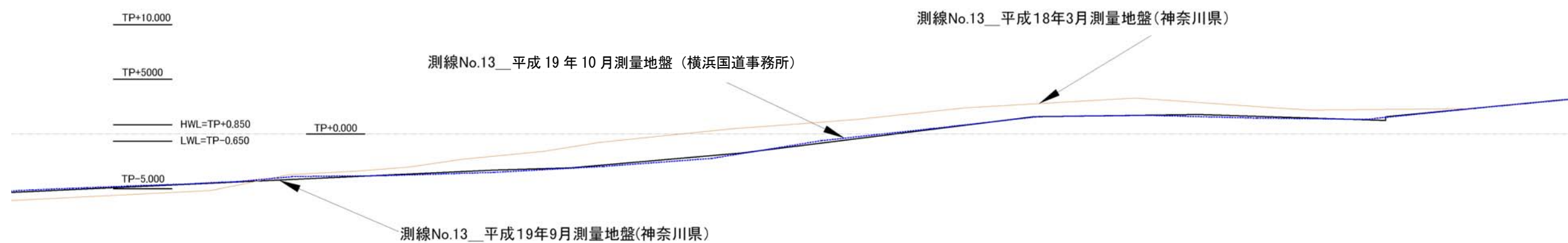
縦横比：等倍

測線No13付近



縦横比：等倍

測線No13付近



② 神奈川県実施（平成19年9月実施深淺測量結果）



図1.14 測線位置平面図 (No. 0~10)